授業科目名・形態	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　藤田博章　平林朋子	実務経験の有無	有	開講期	３年後期
科目ナンバリング	W6-3010s				

【授業の主題】

相談援助実習に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得する。また、社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得し、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を目指していく。

【到達目標】

1）ソーシャルワークの理論と実践をつなぐことができる。
2）実習記録や実習体験を踏まえた課題を整理し、実習の目標や達成状況を知ることができる。
3）実習の総括として実習報告書を作成し、実習報告を行うことができる。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション（実習日誌の読み直し、目標達成状況、自己評価・施設側評価の確認）
第 2 回　実習の振り返り①（学びや価値の揺らぎ、自己覚知の話し合い）
第 3 回　実習の振り返り②（関係形成上、業務遂行上の困難などの話し合い）
第 4 回　実習の振り返り③（印象に残った出来事、体験の話し合い）
第 5 回　実習の振り返り④（グループ発表）
第 6 回　実習報告書の作成に関する説明（実習報告書の作成の仕方、作成様式等の説明）
第 7 回　実習報告書の作成①
第 8 回　実習報告書の作成②
第 9 回　実習報告書の作成③
第 10 回　実習報告会に向けたプレゼンテーション準備①
第 11 回　実習報告会に向けたプレゼンテーション準備②
第 12 回　実習報告会①
第 13 回　実習報告会②
第 14 回　実習報告会③
第 15 回　全体総括（実習の評価、実習の総括）

【授業実施方法】

講義および演習

【事前・事後学習】

・実習の振り返りを中心に 30 分の予習及び演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。
・教員の指導を受けて期日までに 実習報告書を作成し、提出すること。

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク演習

【教科書等】

最新 社会福祉士養成講座８　ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）　中央法規出版

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

・授業取組み姿勢等 20%、実習報告書 40%、実習報告会の内容等 40%で総合的に評価する。
・60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

社会福祉施設で生活相談員として相談業務を経験し、相談援助実習指導にも携わってきた。相談援助実習報告書の作成方法及び実習報告会での発表方法について指導していきたい。

【学生へのメッセージ】

実習の成果をしっかりまとめ、実習報告書の作成及び実習報告会には主体的かつ総合的に取り組むこと。ソーシャルワーク実習を振り返り、実習で学んだこと、達成できなかったことを検証して、専門職としての資質の向上に役立ててほしい。